学会年次大会開催報告書

1.大会概要

大会名：〇〇学会年次大会

テーマ：「〇〇〇〇における最新の研究と実践報告」

◾️開催期間：2025年10月1日～10月5日

◾️開催場所：東京大学駒場キャンパス

◾️主催：〇〇学会

◾️共催：東京大学大学院情報学環

◾️後援：文部科学省、東京都教育委員会、AppleJapan、日本マイクロソフト

2.参加者数

◾️総参加者数：2,500名

・国内参加者：2,000名

・海外参加者：500名

・学生参加者：300名

・一般参加者：500名

3.プログラム内容

◾️基調講演：

・講演者：〇〇教授（〇〇大学）

・講演タイトル：「〇〇〇〇の未来」

・概要：〇〇教授は、最新の研究成果と今後の展望について講演し、参加者から高い評価を得ました。

◾️シンポジウム：

・テーマ：「〇〇〇〇における最新の研究」

・パネリスト：〇〇教授（〇〇大学）、〇〇博士（〇〇研究機関）、〇〇氏（〇〇企業）

・概要：各パネリストがそれぞれの専門分野から最新の研究成果を発表し、活発な議論が行われました。

◾️ワークショップ：

・テーマ：「〇〇〇〇技術の実践」

・講師：株式会社〇〇〇〇CTO最高技術責任者〇〇〇〇氏

・概要：参加者は実際に〇〇技術を体験し、実践的なスキルを習得しました。

4.成果と評価

◾️研究発表数：250件

・口頭発表：100件

・ポスター発表：150件

◾️参加者の評価：

・アンケート結果：参加者のXX%が「非常に満足」と回答

・コメント：「〇〇の講演が非常に有益だった」「ネットワーキングの機会が多く、非常に有意義だった」

・特筆すべき点：多くの参加者が、次回大会への参加意欲を示しました。

5.財務報告

◾️収入：

・参加費： 一般参加者8,000円（500名）

学会員6,000円（2,000名）

・スポンサーシップ：1,500,000円

・助成金：600,000円

・その他収入：350,000円

◾️支出：

・会場費：3,000,000円

・印刷費：5,000,000円

・講師謝礼：100,000円

・広報費：2,000,000円

・ボランティア交通費：120,000円

・その他経費：200,000円

◾️収支：

・収入合計：18,450,000円

・支出合計：10,420,000円

・収支差額：8,030,000円

6.今後の課題と展望

◾️課題：

・参加者数の増加に伴う会場のキャパシティ問題

・国際参加者への対応強化

・オンライン参加者へのサポート体制の充実

・企業、団体からのスポンサーシップの獲得

◾️展望：

・次回大会の開催地と日程の検討

・新たな研究分野のセッション追加

・ハイブリッド形式の導入による参加者の多様化

以上。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| アイコン  自動的に生成された説明

|  |
| --- |
|  |

 |  |
|  |  |
|  |  |
| <https://korekaranogakkai.com/> |